

しほのあそ家族を増したくなったら～夕頭で暮らしを始める前に～



犬との生活はとっても楽しい！

→ もう一頭、家族に迎えるのがなと考えたとき...

☆ 責任ある飼い主として

- 先住犬の世話を大切にできますか？
- 手間、時間、お金をかけてあげられますか？  
→ もちろん楽しさ2倍ですが大変も2倍です。
- 先住犬が留守番が苦手な子から、犬友たちがいないからと  
思って犬を増やしたいと考えてはいませんか？  
→ 留守番の苦手な子が、犬友たちのいない子が  
2頭目に増えるだけです。  
先住犬は問題行動は次の子にも出やすい。
- 他の家族は賛成していますか？
- 自分自身を神経質なタイプ、心配症なタイプと思えますか？  
→ そんなタイプの方にはもう一頭増やすことは  
あまりオススメしません。

↓ 犬を増やすということとは...

楽しいことだけが「増える」のではありません。

同じだけ大変なことも増えるのです。

☆ 先住犬はどんなタイプ？

- きねと犬同士の社会化ができていますか？
- 先住犬には散歩犬友たちはいますか？
- 他の犬と上手に挨拶や遊んだりできますか？  
かどうか、ということ。

- 犬は犬の行動を真似します。
- 飼い主さんが問題行動はありますか？
- 飼い主さんと良好な関係を築けていますか？

- あまり高命令ではありませんか？
- 健康管理はできていますか？

## ① 1頭で暮らした犬が"しあわせなタイプ"

- 他犬を怖がる
- 他犬に攻撃的になる
- (人の社会でも犬の社会でも) 社会性がない
- 急な変化に弱く、神経質な子
- 飼主さんを独占したが"る傾向のある子

## ☆ 2頭目の導入は慎重に...

◦ 仔犬が受け入れるのが、成犬が受け入れるのが

### 仔犬の場合

→ 先住犬がきちんと犬社会性が有り仔犬を教育できるかどうかポイント!

仔犬はとにかく好奇心たり気持ちでいいはいい!

先住犬と遊ぶたがり、中には先住犬をおもちゃにしてしまう子も...

### 成犬の場合

→ 先住犬が"犬社会性"があることはもちろんであるが、受け入れる子も他犬に興味を持つ子を選ぶのがポイントです!

## ◦ 年齢差は?

だいたい1〜3歳ぐらいの差がベスト

あまりにも年齢が高すぎると、高年齢犬はストレスになること...

兄弟犬や同じ年齢同エの子を同じタイミングで引き取り育てるのはとても大変!

→ 犬同士も**共依存**になりやすい。

(例) 同居犬と高年齢犬の同居をほうと

### ◦ 体格差は？

(先住犬)が小型犬 → (新入り)が大型犬

- 大型犬の方があそび方が心配。  
特に仔犬(大型犬)では?場にあてられすぎてしまう可能性が高い!
- 小型犬(先住犬)の方が気が強く、主さんと大型犬に「やめて!」と言るので主人はあまり心配はしなくても。

(先住犬)が大型犬 → (新入り)が小型犬

- 落ちつきのある大型犬にチョコチョコした重さの小型犬を受け入れられるかどうかがポイントです。

### ◦ 長毛? 短毛? 暑がり? 寒がり?

とって寒がりなると、とって暑がりなると常にどちらかが我慢してはなりません。

### ◦ 性別による木目個性は?

異性同士がベスト(ただし去勢や避妊はあべぎ)

同性同士であれば、少し年齢を離れた方がいい。

↳ ライバルにならないようにするため

どちがにせよ **不妊** はしがりで行いましょう。

↓

きちんと暮らさない...

無責任に増えてしまった仔犬を「飼えない」、「里親が見つからない」という理由で動物管理センターへ持ちこたというひどい事態に...

実際に年間殺処分される犬の約17.2% (およそ7732頭)が仔犬の数です。

これは感染症や病気で亡くなる仔犬の数の倍ほど多い時。

\* どうしても「うちの子の子どもが『谷欠い』』と思うので『あ犬は』」

### 飼い主さんに知ってもらいたいポイント

- 両親は健康かどうか
  - 遺伝性疾患はないか
  - 親犬が『育児放棄』して『育てられず』時間と手間はあるか
  - もし障害のある仔犬が『生まれて』育てられているか
  - 全ての仔犬にしあわせな家庭はつけられるか
  - いざ『出産』したら『きちんと』引き取って『育てられるか』
- どこから『DP』を『ネコ』のか
- ネットショップ
  - 行政機関
- ) よく考えてみましょう!  
と『ちら』にも『ネット』、『行政機関』には『ある』は『あ』で『あ』

◦ 犬種は?

- 先住犬と同じ犬種

→ 飼い主自身が『扱い慣れている』ということキタリ

犬種別の『トラブル』回避にもなります

- あなたの犬は『体育会系? 文化系?』

→ 犬の『性格』を『理解』しましょう

例) 体育会系 (上下関係に『厳しい』)

柴犬など『日本犬』など

文化系 (おた『やが』、『フレンドリー』)

ラブラドル 『など』

- 遊ぶ『方』が『似ている』『活発な』犬の『近い』犬種を『選ぶ』ほう

→ 例には『先住犬』の『散歩』友達『ち』と同じ犬種 など

### ☆ 新入りを迎える前に

- 名前は区別しがい、あがりやすいものにする
- 先住犬には何が起きるかを知らせておく  
→ 迎い込め数日前に新しい子のおいものついで物を置いたりしてやる など
- お互いの健康チェックを済ませておく  
→ 大同士でうつり病気の予防をしかり行うこと。
- いきなり全部一緒にしてしまうのはダメ!  
だからといってすぐ → 隔離しておくのもダメ!  
→ 自由にするのは先住犬! 行動の制限は新入りに!
- 家族のルールを系統一させる!  
→ 例としては、お父さんは新しい子を甘やかして一番にする、でも娘は先住犬が一番にする。



犬が混じりすぎる!!

基本的には先住犬を優先すること!

- 新入りの犬と飼い主さんの関係を作るのが大切

### ☆ 新入りの迎え方

- 家族全員がいる午前中がベスト
- 興奮しがい犬は減速させておくこと
- 成犬は外のお互い知らない所でお見合いがベスト!  
部屋の中なら玄関に置いておき、その後一緒にする。
- 仔犬であればサークルなどの対面がゆとりと

※ 先住犬にとっては後から迎い込め犬はただの侵入者!  
少しづつ馬がしていきましよう

## ☆ 犬同士の関係

二頭以上の犬が"同じ家で"一緒に暮らしているけれど  
犬社会は勝手にできまわす。



完全に隔離して暮らさない限り人がコントロールする  
のは難しい。

### ◦ 真似しやすい行動力

犬は**観察**の天才です!

- お犬様
- 散歩中のリード"お引っぱり"
- 留守番の下手
- いたお"り"
- 排泄の失敗

先住犬が"良い子"であっても油断してはいけません!

下の子の真似をして今までのしなかったようなイタズラをしちゃうことも...

### ◦ 犬同士のケンカ

犬同士のトラブルには必ず"原因"があります。

多くの原因、トラブルの火種は「お気に入りに」のせいが多い!



先住犬のこだわりを知る

- 食事、おもちゃ、場所 など

飼主さんは 平等に与えているつもりでも

犬たちは "あいつのが"谷欠しい!"と横取りするもので"す。

### ◦ 遊ぶにとっても執着のある子は...

別々に遊ぶ時間と場所を確保してあげましょう!

## ○ 散歩

- ・ 仔犬の散歩デビューは先住犬と一緒に
  - ・ 慣れてきたら別々の外出、お留守番も経験させよう  
→ 犬同士の**共依存**の予防になります。
  - ・ 散歩の時はそれぞれホジションを決めてあげよう
- 一緒に散歩に行く前に一頭ずつリードコントロールできるようにしましょう！

## ☆ 他頭飼育もするみなさんへ

教えておくと良いこと！

- 全頭の呼び戻し、それぞれ呼ばれ
- それぞれ簡単な指示語トレーニング
- お散歩のホジション
- 生活の中で「見番を「待つ」ということ

複数、お家に犬がいるのは楽しいけど、迎入れお前に考えて下さい。

- ・ 新しい子犬を迎えて先住犬はしませ?
- ・ ご家族はしませ?
- ・ 全ての犬に適切なケア、医療、予防、おんぐり2倍!
- ・ 安易な多頭飼育は絶対にしない!